

労働災害防止推進大会

と き 2022年1月21日

ところ ホテル ハイマート



高田労働基準協会

労働災害防止推進大会 次第

1 開会あいさつ

高田労働基準協会会長

タワーパートナーズセミコンダクター
株式会社 新井地区

地区総括 粉谷 直樹

2 来賓祝辞

上越労働基準監督署

署 長 市川 尚 殿

3 大会宣言

4 安全祈願

八坂神社 宮司 殿

玉串奉奠 粉谷会長・市川署長

閉 会



厚生労働大臣顕彰 おめでとうございます

安全優良職長厚生労働大臣顕彰

なんぶ しゅんすけ
南部 俊介 様

令和3年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰者として、住友電工ウインテック株式会社田口事業所（妙高市田口）所属の 南部 俊介 様が顕彰されました。当協会会員事業所での顕彰者は、平成27年以来6年ぶりの栄誉となります。

厚生労働大臣顕彰は、平成10年から実施されているところですが、①職長等としての実務経験が10年以上、②過去5年間以上、休業4日以上の災害が発生していないこと③職務に必要な資格（免許、技能講習及び特別教育）を有するとともに、安全管理、作業指揮等の能力が優秀であること④安全管理に関する部下の指導教育又は安全管理に関する知識・技能の普及や継承に積極的に活動していることなどが顕彰基準となっています。

令和3年度 緑十字賞 受賞 おめでとうございます

高田労働基準協会 アーク溶接等特別教育 講師

たきざわ

こうきち

滝澤 孝吉 様

既に、「労働基準ユース11月号」紙面で受賞の経緯がご紹介されていますが、当協会の「アーク溶接等特別教育」の実技・学科講師としても長年ご協力を賜っております 滝澤孝吉 講師が、昨年10月に開催されました第80回全国産業安全衛生大会において緑十字賞を受賞されました。当協会のほかにも、新潟県労働基準協会連合会の上・中越教育センター「ガス溶接技能講習」講師をはじめとして多方面でご活躍されております。



大会宣言

～ 労働災害防止の誓い ～

現下の情勢は、新型コロナウイルス感染症の収束時期が想定できない混迷した状況が続いており、私たちの日常生活への影響は言うまでもなく、我が国の経済活動にとどまらず、世界的経済活動にも多大なる影響を及ぼしている。

このような大変厳しい情勢下ではあるものの、私達が安全と健康を確保し快適な職場を形成することは、そこで働く労働者のみならず、企業経営者にとっても、労働能率の高揚、生産性の向上をもたらす重要なことであり、崇高な目標である「労働災害はあってはならない」「おこしてはならない」ことは、些かの揺るぎない目標であることは言うまでもない。

しかしながら、労働災害は依然として後を絶たない状況であり、2021年では、上越労働基準監督署管内で5名の方の尊い命が失われた結果となったことは慙愧に堪えず、かつ、休業4日以上労働災害が大幅に増加していることを踏まえるならば、2022年が第13次労働災害防止計画最終年にあたることから、真に労働災害の撲滅は喫緊の課題と言える。

職場の安全や労働者の健康を確保するには、先ずは、経営トップ自らが強い意志で「災害ゼロ・快適職場の形成」を表明し、労働者一人ひとりが参加する安全衛生活動のさらなる活性化とともに、職場での安全衛生教育を徹底することにより安全意識の高揚を図り、職場における潜在的な労働災害発生要因を取り除く強い意識と労働災害発生リスクへの感受性を研ぎすますことが重要である。

加えて、働く高齢者の増加等による就業構造の変化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢の変化等に対応し、将来を見据えた持続可能な安全管理を継続して実施する必要がある。

よって、ここに決意も新たに労働災害防止のため誓うものである。

- 一 経営トップは自ら率先して心身両面にわたる健康づくりと、効果的な自主的安全衛生管理活動の強化を図る。
- 一 職場全体で「安全があって初めて作業が成り立つ」意識を基本とし、人命尊重を第一義とする。
- 一 一人ひとりが労働災害発生リスクに対する感受性を高め、不安全な行動・不安全な状態の排除を徹底する。

2022年1月21日

上越労働基準監督署管内
上越市・妙高市事業所一同

令和4年 労働災害防止推進大会

スタッフ写真





粉谷 高田労働基準協会会長による 玉串奉奠



開会前の会場内